

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	第7~14日目	第15日目
治療内容									
検査	採血	○							○
診療	副作用の問診	○							○
	検査結果	○							○
治療中止 基準	①WBC 3000未満 ②血小板 10万未満	—	—	—	—	—	—	—	—
点滴	①生食50ml 点滴静注 【15分・ルート確保程度】	↓							↓
	②生食100ml +ベクティビックス 6mg/kg 全量100mlにする 点滴静注【60分】 フィルター付きルートで	↓							↓
	③生食50ml 点滴静注【15分以上かけて ルートフラッシュ】	↓							↓
ポストメディ ケーション									

減量基準

重度 (Grade3以上) の皮膚障害発現時の用量調節の目安

皮膚障害発現時の本剤の投与量	本剤の投与	投与延期後の状態	本剤の用量調節
6mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade2以下 に回復	6mg/kgまたは 4.8mg/kg
4.8mg/kg	投与延期	6週間以内にGrade2以下 に回復	3.6mg/kg
3.6mg/kg	投与中止		

※6週間以内にGrade2以下に回復しなかった場合は、本剤の投与を中止する。

**看護のPoint!!**

特に初回投与時とそのあと1日は、インフュージョンリアクション発現に注意。異常があればすぐに主治医に報告。

皮膚障害の頻度が高い。投与後1週間以内に発現しやすい。早期からケアと対策が必要。

主治医やがん認定看護師と相談しながら症状にあった対策が必須！

2回目投与以降は投与時間が多少早くても遅くても大丈夫

ベクティビックス初回投与時の投与時間とそのあとの生食フラッシュは投与時間を守ってね。